

「港区赤坂と俱ともに」

2018年4月4日
国際医療福祉大学
東京赤坂キャンパス開設記念式典



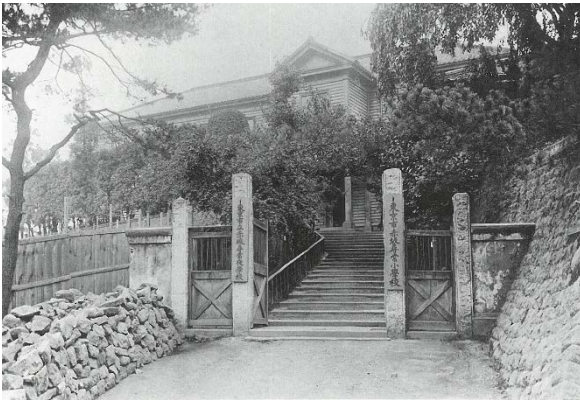
国際医療福祉大学
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

■赤坂小学校の跡地

国際医療福祉大学・東京赤坂キャンパス（東京都港区赤坂4-1-26）は、港区の旧赤坂小学校跡地・周辺地区活用事業推進事業に選出され、2018年4月に開学しました。

かつてこの地は、大岡越前守の屋敷があった場所として知られていますが、地元の有志者、内海甚作氏、秋元嘉作氏、磯野八郎兵衛氏らの企画によって1870年（明治3年）に設立された習学所を前身に、1873年に第3中学区第3番小学校茜陵（せんりょう）学校が開校。1875年、校舎を増築されたのを機に校名を赤坂小学校と改名されました。

赤坂小学校は1992年（平成4年）に檜町小学校と統合されるまでの118年の間に1万875名の卒業生を輩出しています。画家の黒田清輝や俳優の徳川夢声、小説家の辻邦生らも卒業生の一人です。



校舎正門（明治22年12月）



校舎正門（大正7年）



赤坂小学校の写真（昭和30年）



赤坂見附交差点



創立90年を迎えた赤坂小学校（昭和37年）



開校100周年を迎えた赤坂小学校（昭和48年）

東京都港区が1992年3月に閉校した旧赤坂小学校跡地と周辺地区の活用について、学校法人等または学校法人等を含む民間事業者の提案を2012年11月に公募しました。

赤坂は交通の利便性が高く、国内外の一流企業がオフィスを構え、各国の大使館も多くあり、国際的にも産業経済的にも情報の集積地です。

国際医療福祉大学グループは全国に約40の教育、医療福祉施設がありますが、このうち港区には国際医療福祉大学三田病院、山王病院、山王メディカルセンター、グループホーム青山、医療福祉総合研究所など中枢施設を配置しており、2000人以上の職員が働き、とてご縁が深いことがあります。医療福祉分野における専門的な課題について学び、研究することを達成するためには絶好の立地であり、学部の新設に加えて、手狭になった港区青山1丁目の本学大学院の移転先としてもふさわしいと考え、応募をいたしました。

2013年5月、本学が選定され、本学6つ目の東京赤坂キャンパスとして活用することにしました。

■氷川山車を常設展示

赤坂は歴史・文化が脈々と受け継がれ、地元市民の交流も活発な地域です。大学としても地域貢献を果たしていきたいと考えております。港区の公募に、地元で大切にされてきた「氷川山車」の展示について提案が求められていたこともあり、本学はキャンパス正面入口に常設展示し、青山通りの歩行者からガラスを通して眺めていただけるようにしました。氷川山車は幅約2.5メートル、奥行き約5メートル、高さ約8メートルあり、歩を緩めて、鑑賞される通行人が多く見受けられます。午後10時までライトアップしています。

氷川山車は「江戸型山車」と呼ばれ、二輪車の上に三層の構造物があり、三層部分の最上部は人形が置かれ、つぎの層は水引幕にとりかこまれた枠で、人形はこの二層目の枠内を上下できるようにつくられています。将軍の上覧に供するために江戸城の門をくぐるとき、人形をからくりで下げ、城門をくぐったあとで人形をせり出していたそうです。

山車は江戸時代、都内の神社の多くの祭礼に用いられましたが、ほとんどが流失や関東大震災や戦争災禍によって失われました。

ところが、赤坂氷川神社に完全な形ではありませんが、9台も現存していたことが分かり、赤坂氷川神社の当時、禰宜だった恵川義浩氏が神職として取り組む一方で、氏神神社として氏子、地域の活性化のために何かできることはないだろうかと考え、時代の流れで特色を失いつつあった赤坂の町に、江戸から続く祭礼というかつてのアイデンティティを取り戻すことで新たな町おこしに取り組むことを地域の方に提案しました。

これをきっかけに多くの賛同を得て、NPO法人「赤坂氷川山車保存会」が2006年（平成18年）9月に設立されました。

保存会の取り組みで宮神輿と山車を復元、新調することができたものの、貴重な文化財も年に一度の祭礼のときのみしか地域住民に鑑賞してもらうことができず、保存会としてはいつでも間近に触れることのできる常設展示が夢でしたが、このたび、東京赤坂キャンパス開設とともに、9台のうちの1台が展示されることになりました。



■ 緞帳

東京赤坂キャンパス1、2階フロアにある講堂（1,000人収容）の緞帳にデザインされているのは、赤坂氷川神社内に納められ、掲げられている大絵馬「祭礼山車行列額絵図」（明治44年奉納・港区文化財指定）をベースにしたものです。同絵図には、16番組、全14本の山車が右下から左上に描かれています。現存する山車9体を残し、製作当初の色彩を復元するアレンジを加え、シックな空間に華やかさをプラスしています。



■ 漢詩

このたび、元赤坂小学校の同窓会メンバーである磯野衛孝様から、東京赤坂キャンパス開設に際して、漢詩を賜りましたので、ご紹介いたします。

慶祝「国際医療福祉大学」赤坂校開設

(一)

醫療開門赤坂岡
櫻花祝慶滿高堂
今垂福壽百齡域
正示前途希望光

医療の門 開かれんとす 赤坂の岡
桜花 祝い慶びて 高堂に満つ
今や垂んとす（近づく）福寿、百の齡域
正に示す 前途に 希望の 光を

(二)

明治遺風是杏壇
招來大學志先端
萬民福祉願悠久
花茜今開俱盡歡

明治の遺風は 是れ杏壇（学問所）なり
招き來たる大學は 先端を 志さんとす
万民の福祉は 悠久に願うところ
花の茜は 今も開いて 俱に歡を尽さんとす

平成三十年四月

元赤坂小学校同窓会（茜会）
磯野衛孝